

月刊 おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>

誌上句会

「0番線」

発表号

2021

4



題「舟」	藤田めぐみ 選	4
	奈良一艘 選	6
無人駅鑑賞「カンテラ」	むさし	8
会員雑詠集「無人駅」		11
■例月句会結果■		
おかげようき川柳社	3月誌上句会	25
川柳吟行会「ぼ」		32
十和田たてがみ川柳会	2月句会報	29
■連載■		
「深艘心理」	奈良一艘	24
Infomation		36～

0 番線

題「舟」 藤田めぐみ 選

【佳作】

スリッパの奥から舟が出る深夜
月の舟かりそめごとでございます
だまし舟きようは銀色だったのね
納得の科白見つけるまでの舟
血縁のはざままで一人舟をこぐ
抱きしめることしかできぬ渡し舟
逃げ道を問えばコミットする小舟
遊びませんか舟はゆつくりゆれるもの
舟を出す水の機嫌のいいうちに
笑かしていつも私は渡し舟
木の葉舟家出の蟻が乗っている
權を捨てたわ気持ちよく揺れてるわ
おひとり様 小雨が好きになる小舟
修羅場でもシュラッシュユハッカーの小舟
かもめ呼ぶ權の雫は放射状
メルカトル図法なあんて丸木舟

高知県 小野善江
愛媛県 吉松澄子
愛媛県 郷田みや
愛媛県 山内美恵子
京都府 木戸利枝
青森県 まみどり
青森県 土田雅子
愛知県 長岡みゆき
愛媛県 吉松澄子
青森県 旅 男
愛知県 丸山 進
青森県 守田啓子
青森県 吉田吹喜
青森県 夏草ふぶき
奈良県 柳本恵子
愛媛県 高市すみこ

タグボートであろうとしては夕焼ける
もしかして水平線は舟の骨
舟溜まり求めて地下の純喫茶
舫い舟倫理的だね自由だね

青森県 熊谷冬鼓
東京都 伊藤こうか
大阪府 浅井ゆず
愛知県 三好光明

【秀逸】

口笛を舟はしつかり聞き分ける
手習いの花丸をゆく星の舟
始まりの舟が透明帯突破

愛知県 安藤なみ
岡山県 小林 茂子
福岡県 もりともみち

【特選】

騙し舟はやく着きすぎてもアレだしね

岡山県 小林茂子

【秀3】舟はいつでも待っている。さあ漕ぎ出そうというあなたの高らかな口笛を聞き分けるために【秀2】コロナ後の新しい世界はすべてが手習いから。それら全部に花丸を。そこから未来へ続く

選評

星の舟が出る【秀1】始まりの舟が卵子の膜を突破したら世界は果てしなく細胞分裂し肥大する。いとか悪いとかそれはまた別の話【特選】騙し舟でぐるぐるしながら繰り言の時間稼ぎをしているの

藤田めぐみ

だ、「アレ」だちよつぴり都合が悪いから。あれは「アレ」としか言いようがない。早く着きすぎると困るのは飲み屋か、はたまた彼岸か。

0 番線

題「舟」 奈良一艘 選

【佳作】

納得の科白見つけるまでの舟
しずみまず湯船の風を見るために
泥舟に迎えられたら負けですな
難民はそれでも笹の舟に乗る
産声を上げた舟出が始まった
蓮池にひらりと舟が舞いおりに
舟を出す水の機嫌のいいうちに
女あり帆柱に貼るのはもへじ
またひとり踵をおろす藁の舟
月へ漕ぐちぎれた糸を權にして
タグボートであろうとしては夕焼ける
スリッパの奥から舟が出る深夜
舟底で黒人と寝たのよ 白夜
剝舟のへその辺りに森と月
たゆたうままに女は舟偏をつける
月の舟かりそめごとでございます

愛媛県 山内美恵子
奈良県 柳本恵子
埼玉県 織田和子
東京都 山田こいし
愛媛県 青野 舞
東京都 山田こいし
愛媛県 吉松澄子
島根県 星出冬馬
愛知県 青砥和子
青森県 高木まあこ
青森県 熊谷冬鼓
高知県 小野善江
千葉県 尾崎良仁
愛媛県 吉原美佐
愛媛県 大内せつ子
愛媛県 吉松澄子

月の舟おとうと隠していませんか
きさらぎの記憶の闇の草の舟
舫い舟倫理的だね自由だね
髪留めがぼつん 後朝の白い舟

高知県 萩原良子
静岡県 米山明日歌
愛知県 三好光明
青森県 守田啓子

【秀逸】

カンナ屑無口代々舟大工
ラの音に乗って那由多の海をゆく
權を捨てたわ気持ちよく揺れてるわ

京都府 岩根彰子
福岡県 もりともみち
青森県 守田啓子

【特選】

始まりの舟が透明帯突破

福岡県 もりともみち

【特選】透明帯は卵子を包んでい
る透明な殻のような層。精子はそ
の殻を突破して受精は完了し、初
めて生命は誕生する。それからの
舟の行方は誰にも予想だにできな
いが、希望に満ちた物語だと信じ

選評

たい。【秀1】男女のしがらみを
捨てた時の心地よい解放感と、そ
の裏に潜む少しの切なさや強がり
が、言わない分響く。【秀2】上
のドから二つ下の音階のうは人生
で言えばまさに後期高齢。信じら

奈良一艘

れない程の数量である那由多の海
を行く舟に幸あれと願う。【秀3】
真っ直ぐに真摯に生きてきたカン
ナ屑の生き様がいぶし銀のように
輝る。

【0番線「舟」：投句者74名】しばたかずみ・青野舞・奥田悦生・稲見則彦・石倉多美子・三好光明・山内美恵子・須藤しんのすけ・米山明日歌・柳本恵子・佐藤春子・吉原美佐・高木まあこ・長岡みゆき・尾崎良仁・芝岡かんえもん・宮井いずみ・中川洋子・西沢葉火・田雅子・岡山フジエ・小野善江・みつ木もも花・大谷のり子・山内もとこ・田中なお・坂本清乃・松本慎吾・村上あつこ・郷田みや・笹田隆志・葉開女・徳長伶・萩原良子・高市すみこ・もりともみち・夏草ふぶき・熊谷冬鼓・守田啓子・青砥和子・上村夢香

土居新山・山田こいし・織田和子・伊藤こうか・吉松澄子・浅井ゆず・星出冬馬・斉尾くにこ・笹重耕三・安藤なみ・吉田州花・金子育司・岩根彰子・中島順子・田久保亜蘭・石橋芳山・旅男・小林茂子・大内せつ子・渡邊こあき・辻井洋子・吉田吹喜・土丸山進・猫田千恵子・山内房子・木戸利枝・まみどり・中川喜代子・滋野さち・鳴海賢治・笠嶋恵美子・岡村水無月・ひとり静

カンテラ

むせし

ようやく春がやって来た。

とは言うものの、それは暦の上でのこと。

世の中は、変異した新型コロナウイルスの感染が拡大し新たな脅威と対峙している。

人が集まっただけの句会は既にあちこちで復活しているが、大会がいつもどおりに開催されるのはいつのことになるのやら。

金木大会も中止になりました。

本当の春が早く来て欲しい。

それでは、カンテラに明かりを灯しましょう。

A群

窓も戸も春よ春よと歌いだす

葉 閑女

充電をしすぎて動けなくなった

柳谷たかお

先に丸つけた方から枯れていく

田久保亜蘭

生きるにはアウトコースのやや低め

荻岡かんえもん

快適が居心地いいとは限らない

熊谷冬鼓

嬉しいような悲しいようなカレイの煮付け

旅 男

引き止める言葉を探す交差点

辻井洋子

結婚記念日養生テープ貼り替える

ひとは

うすずみの言葉を壺に入れておく

村上てる

しあわせもそろそろ次の人の番

斎藤泰子

斎藤泰子さん、「しあわせ」って持ち回りだったので
すか。幸せな人は、この幸せっていつまで続くのだろう
と思うんですよね。いつまでも続くはずはない、逃げて
行ったり「次の人」へ行ったりするから今の内によく囁
みしめておかなきゃ、ともね。小さな幸せでいい、どん
どん回って来ますように。

B群

オアシスの真ん中へんにゴビ砂漠

小野五郎

水餃子本日死刑執行日

まきこ

三寒四温とアクリル板に仕切られる

守田啓子

おしゃべりな桜鳥かごは空っぽ

柳本恵子

あなたとの南に雨が降りしきる

米山明日歌

米山明日歌さん、「あなたとの南」っておもしろいです
ね。記憶が曖昧ですが、西秋忠兵衛さんの句に「精神の北」
〔南〕だったかも知れません〕がどうのこうのというの

C群

しっぽの縞までは責任もてません

宮井いずみ

月曜の薄切り誰のオーダーだ

石橋芳山

七福神春の放尿して御座い

岩根彰子

その男マザコンにつきバームントカレー甘口

奈良一艘

宮井いずみさん、「しっぽ」が生えているのですか。そ
れも「縞」模様のあるやつ。「責任もてません」て、ど
んな「縞」なんだろう。縞模様には棒縞、矢鱈縞、片滝
縞、両滝縞、両子持縞、乱調間道縞、曲輪繋ぎ文様、子
持吉原文様なんてのがあられるらしい。ストライプだとピン・
ストライプ、ペンシル・ストライプ、レジメンタル・ス
トライプなどなど。「責任もてません」と言っても持た

ざるを得ないんだよな、きつと、ぶつぶつ。

石橋芳山さん、どこでその「オーダー」を目にしたんですか？「月曜の薄切り」って、食べ物ですか？もしも、食べ物だとしたらどんなの？「薄切り」だから刺身ということも考えられますね。でも、休み明けの「月曜」って山葵醤油でも食べにくそう。だから厚切りじゃないのかな。不思議な句だな。

岩根彰子さん、神様がおしっこするなんて聞いたことないけど「七福神」がおしっこするところを見たの？「七福神」は福德の神だよ。大黒天・蛭子（えびす）・毘沙門天・弁財天・福祿寿・寿老人・布袋（ほてい）の七柱で、弁財天なんて女神だぜ。「七福神」と言えば、宝船だよな。宝船は初夢を見るために枕の下に敷く縁起物。もしかしたら彰子さん、初夢でそんな図を見た？それって目出度いの？目出度くないの？にしても変な夢。

奈良一艘さん、5・7・12の24音とはずいぶん長いですね。墨作二郎さんに長〜い句があるのでそんなに驚きま

せんが、やはり長いですね。念のため作二郎さんの句を2句紹介します。「埋没される有刺鉄線の呻吟のところどころ。／秩序の上を飛んでゐる虫のきらめく滴化」新鮮なる鍋底がかぶさつてゐるとしたら。砂／上の焚火をかこんでゐる天使の群の憂愁」（いずれの句も／で改行されている）どうですか？長さにも驚くけど2行になってたり、途中で句点があったりしてまたまた驚くでしょ？ところで、「バーモントカレー甘口」が「マザコン」用だとは知りませんでした。「その男」って誰ですか？因みに、私は「甘口バーモント」を食べたことはありません（汗）

※墨作二郎さんの句は週刊「川柳時評」から引用しました。

http://daenzumi.blogspot.com/2017/03/blog-post_31.html

おかしやうき川柳社会員雑詠集

無人駅

★無人駅3月月間賞

銀座から馬一頭を連れ戻す

田久保亜蘭

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

感情的になるかならぬか今大事
だみ声の小さい方に差し上げる
停電や車のハンドルとられたり
原因は棘が刺さったときからだ
天獄と地獄がモデルケースです

先月号のお気に入り
満月が落ちてくるのを待っている
生き方を見ているような気がしました。
むさし

ひとは【ひとは・青森県黒石市】

他人だと確認をする切り取り線
子を産んでそこから気化が始まった
目玉焼き焦がすそこそこ好日で
結婚記念日養生テープ貼り替える
善人になりそう灰汁を抜かなくちゃ

先月号のお気に入り

ひとり静【ひとりしずか・奈良県大和郡山市】

はじめのよ夢中のドアをまず閉じて
天からも地からも遠い風船と
オードリー・タンはおそらくコロケ派
わかまえぬころころころがせて
空くるり埴輪の口は開いたまま

先月号のお気に入り
風邪をひく小さな三角形になる
エクセルの三角ですか？なにか気になる存在です。
吉田吹雪

ひらく【ひらく・青森県蓬田村】

靴紐を確り結び日が昇る
だるまさんがころんだけどだるまさん
化学平衡の原理で元素ユメ
「星の王子様」が枕元に座っている
キンダーブック宇宙の凶鑑キミノトリセツ

先月号のお気に入り
「コンビニへ愛と勇気を買いに行く
たまーに衝動買い籠に山盛り
須藤しんのすけ

まきり【まきり・青森県青森市】

言い放題高カロリーの妻ですが
コンビニへ急ぐ フイクションかもしれぬ
水餃子本日死刑執行日
ゼロ金利どこかでネギの刻む音
おうち時間妻を味方しています

先月号のお気に入り
まわりつくものあってどうにか立っている
支えになつてたんだ。了解しました。
守田啓子

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

不器用に誘う爆弾低気圧
その手には乗らぬつもりでサイレント
わかつてはいるのに左手の迷い
今何を試されているディスタンス
あれこれと行くあてのない雪晴れ間

先月号のお気に入り
手榴弾なくし檸檬をポケットに
確かに形は似ている。いや檸檬の方が効き目ありそうかも。
宮井いずみ

三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

オーロラソースかき混ぜ午後の僕を吐く
ザラメ雪脇の甘さが素敵です
自尊心曲がりなりにわかまえる
春だから落とし所を探してる
有り体に申し上げれば濡れ羽色

先月号のお気に入り
強情をこんなところじゃ使わない
歳を重ねてくれば、ここぞの時のためにとっておきたい
ですね。
斎藤泰子

宮井いずみ【みやいいずみ・大阪府大阪市】

しつぽの縞までは責任もてません
書き込みがあるので少し苦い川
順番がちがうトマトの洗い方
今日なんて笑いましたか地蔵さま
スリッパに替えて下さいプリンです

先月号のお気に入り
剥がすとき付箋は海をみたがった
何度も使える付箋ならまたのチャンスがあるかも
徳長怜

村井規子【むらいのりこ・青森県大鰐町】

曇天を晴れにするのは自分次第
本名は期間限定家の中
脚・膝・腰お父さんどう辛いでしょ
おむつ変えてあげた弟に叱られ
人生を馬鹿にするのか買い取り値

先月号の
お気に入り

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

誰だっけ思い出せない2日後も
何だっけ時々焦がす脳と鍋
蜘蛛の巣に絡め取られて認知症
酸欠で溺れてしまう夢の中
虚言癖の脳を騙しているお腹

先月号の
お気に入り

大笑いすればピンピンコロリ券 宮井いずみ
大笑いしながら生きていけばピンピンコロリと死ぬるの
ですね？努力します。

村上てる【むらかみてる・青森県青森市】

炉開きやしずかに揺れる寒椿
冬木立ゆさぶられるシンフォニー
寒牡丹母さんのように見えている
はは偲び茶を点て床の白椿
うすずみの言葉を壺に入れておく

先月号の
お気に入り

苦勞性でした本家の嫁でした 土田雅子
まさに実感句私も一人息子に嫁きました

守田啓子【もりたけいこ・青森県青森市】

そう見えてそうはいかない寒大根
先割れのスプーンで掬う春の色
三寒四温とアクリル板に仕切られる
片足は放物線の中だった
放ぼつておけばいいのよ鳩笛ボツ

先月号の
お気に入り

風邪をひく小さな三角形になる 吉田吹喜
大きな丸に戻つてね、早く。

柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

春一番アリスのお茶会さそわれて
等高線つないだままで春うごく
チューリップ立ち位置なんて気にしない
おしゃべりな桜鳥かごは空っぽ
ファイティングポーズしたまま冬終わる

先月号の
お気に入り

ロッキーのテーマまだ鳴る大丈夫 村井規子
ロッキーのテーマが元気をくれました。

柳谷たかお【やなぎやたかお・青森県外ヶ浜町】

祝宴に月とそよ風来る予定
微笑んで歩く微笑み返るよう
鼻水もくしゃみも命紡いでる
メロディーがブナの森から流れ出す
充電をしすぎて動けなくなった

先月号の
お気に入り

ジタバタジタバタ生乾きのまんま きさき彼句吾
生乾きをこんなに上手に使えるとは。恐れ入りました。

葉 閑女【ようかんによ・青森県青森市】

窓も戸も春よ春よと歌いだす
はこべ咲く万愚節など知らぬげに
わらべうたが今も聞こえる袋小路
痛む膝 歳のせいとは言わぬ医者
名声はいらぬ行きたいとこへ行く

先月号の
お気に入り

振り出しに戻るサイコロふっちゃった 渡邊こあき
私もよくやります。

四ツ屋いずみ【よつやいずみ・北海道札幌市】

シルクロードの薫らないペルシャ絨毯
百年の恋かみ砕くマウスピース
濡れ髪で切り出しやすくなる別れ
脱ぎ捨てられたシャツ春待ちの体で
遺すとしたら岩合さんの「ネコ歩き」

先月号の
お気に入り

待っている蜥蜴の背に棲む人を 米山明日歌
ミステリアスなそんな人を私も見てみたいです。

吉田州花

【よしだしゅうか・青森県青森市】

逢う逢わぬ吹雪具合をどうするか
吹雪産むそれはあなたの結果論
勝たせてあげるおとぎ話を編んだから
鍵の束鳴らして帰りたいところ
志麻さんのスープ帰ってきて欲しい

先月号のお気に入り

角曲がり三步でドアのないわが家 夏草ふぶき
そんなこともあった。今思えば幸せだった頃

吉田吹喜

【よしだふぶき・青森県弘前市】

つんつくつんチカチカチカ 包帯のイジワル
なんてこった プリンアラモードに癒される
慣れちゃったゴメン このままインドア派
無関心なのに優しい：罪だなあ
ぽとっ、アスファルトに涙のしるし

先月号のお気に入り

大笑いすればピンピンコロリ券 宮井いずみ
そういうことが。いいこと聞いちゃった♡♡

渡邊こあき

【わたなべこあき・青森県青森市】

立ち尽くすホワイトアウトの世の中で
チャコールグレーマイナス七度超えた仲
家にいた群青色の青い鳥
まつ黄っ黄注意事項が溢れてる
気づいてよレッドカードになることば

先月号のお気に入り

咲くまでは友達だったモモ、サクラ きざらぎ彼句言
モモ、サクラは散るときにまた友達にもどるような気が
します。

安藤なみ

【あんどなみ・愛知県瀬戸市】

爛酒続く電子レンジが酔っぱらう
二次元の膝にアイロンをかける
失業はしない銀座の蟻だから
ワクチンをうって渡り鳥の仲間
マンモスの雄たけび聴きに成層圏

先月号のお気に入り

風邪をひく小さな三角形になる 吉田吹喜
いい感じ！

吉見恵子

【よしみけいこ・青森県青森市】

倒れるものはたおれるままに風の刃
ジュゲムジュゲムと体をなでる黄落期
紙ひこうきで吉野ざくらに四万十川
少し淋しいくらいが自由より自由
またなぞる董たんぼぼ春通り

先月号のお気に入り

米山明日歌

【よねやますか・静岡県長泉町】

ありふれた時間の中で溺れてる
あかい昼あかい手紙をまつている
ペルソナの影を知ってる昼の月
捨ててきた菊の匂いで撫でる人
あなたとの南に雨が降りしきる

先月号のお気に入り

月に濡れ雪に濡れてもまだわたし 吉田州花
わたしも色々なものに濡れています。でもわたしです。

石橋芳山

【いしばしほうざん・島根県松江市】

月曜の薄切り誰のオーダーだ
ぱつくりの穴の向こうに僕の恥部
もつともつと泡立てないと午前2時
ラーメンにねじ込んでくる二八蕎麦
妄想に電気クラゲを抱いている

先月号のお気に入り

岩根彰子

【いわねあきこ・京都府京都市】

半径に猫のあくびと灯明と
お勝手の明かりポツポツ五月病
集団脱走乙女椿の冬乳房
七福神春の放尿して御座い
上弦の月がファスナー咬みました

先月号のお気に入り

足指のグーチヨキグーチヨキまだ立てる 熊谷冬鼓
グーチヨキは上級ですね。私もしまひよ。

小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

サンドページジュ染められてゆく鎖骨
オアシスの真ん中へんにゴビ砂漠
男にはどうにもできない蜃気楼
ひっそりと石見銀山やつて来る
異邦人太宰治に瓜ふたつ

先月号のお気に入り

きさらぎ彼句吾【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

同調圧力 蕾のまんま根が腐る
忘却を促すように葉が落ちる
亀裂の真闇から暁の気配
意固地な表面張力の肩肘
歓待したのは看板だけだった

先月号のお気に入り

青空を抱えたままじゃ酸化する
そ、そんなんですか？
辻井洋子

熊谷冬鼓【くまがいとうこ・青森県青森市】

しいて言えばイチゴの赤は苦手です
快適が居心地いいとは限らない
逃げていただけかも風船萎ませて
茄子のとげ噛みついたりはしないから
しいて言えば耳の形は好きですね

先月号のお気に入り

マスクするどっちを裏にするべきか 鳴海賢治
汚れる側か顔側か。どっちも裏っぽい。笑っちゃいました。

斎藤泰子【さいとうたいこ・秋田県大館市】

蝉のようにも鶴のようにも生きられず
こんなにも冷たい耳で何を待つ
しあわせもそろそろ次の人の番
難題がショートメールでやつてくる
春風になろうとしたの それだけよ

先月号のお気に入り

言葉の使い古した舌ざわり 須藤しんのすけ
どうでした？きらびびりました？てろてろでした？

笹田隆志【ささだたかし・青森県青森市】

フラフラ腰の屈んだ父だから
チゲ鍋の母さんの味四十九日
再エネを小説に書く夢日記
銀行を行ったり来たり犬と猫
大雪をゲリラ豪雨が厄払い

先月号のお気に入り

芝岡かんえもん【しばおかかんえもん・神奈川県横浜市】

よこしまな今日がドヤ顔しています
人間の煮詰まるような音がした
ここんとここころへんならまだやわい
生きるにはアウトコースのやや低め
青空が破れちまって紙吹雪

先月号のお気に入り

MR!こんなどころにチエ・ゲバラ 小野五郎
深刻な話だろうにチエ・ゲバラで救われる。

城後朱美【じょうごあけみ・福岡県八女市】

お帰りと星が迎えてくれました
さみしさに慣れずさつさと家を出る
一人で暮らすにはテレビが小さすぎ
草伸びて伸びて私を困らせる
母を待つ土の匂いに包まれて

先月号のお気に入り

がむしやらに働いてきた無職だ(怒) 旅男
私も無職になりました。

S i n【しん・青森県外ヶ浜町】

少年は睨む オトナという不条理を
少女は笑顔で低めの設定温度
「女子100メートル決勝」はセーフ
性欲は消えた 性別欄も無くなった
気がつけばオトナ 少年が睨んでる

先月号のお気に入り

先月号のお気に入り

美しいノックの音を知ってから 米山明日歌
この句を詠んで「ホテル不倫」しか浮かばないあたりが、
ダメなところなんだろうなあ(笑)

須藤しんのすけ

【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

影のない嘘つきばかりいるクラブ
古文書に載せる俳句の作り方
あきらめの悪いホストの手に銀河
飲み会のお誘いLINE待ってます
嫌なこと忘れて開けるジャムの瓶

先月号の
お気に入り

吹雪いててうまく眉毛が描けません 夏草ふぶき
大事な事もどうでもいい事も、みんな何かの所為なんで
すよね。

瀧尻善英

【たきじりよしひで・青森県八戸市】

気がつけば包囲されてた桶狭間
ネクタイの呪縛が俺を苦しめた
海溝のナマズが揺する要石
美しくなるうなれると脱皮する
過去のことみんな輝く絵空事

先月号の
お気に入り

松田さん下北沢で会いましょう 須藤しんのすけ
学生時代、下北沢の本多劇場脇に住んでいました。松田
優作がこよなく愛したBAR『ADYJANE』で会えるかも？

田久保亜蘭

【たくぼあらん・秋田県五城目町】

死土に逢いに行くスイッチ間違えた
投網だけで平和を取り戻せるか
同じ屋根の下から生える疑問符
先に丸つけた方から枯れていく
大阪のコトギの邪魔を捨てに行く

先月号の
お気に入り

長女という付箋の下が痒くてさ 村井規子
「長女という付箋」という宿命を超越できるのが人間だけ
なのである。さあ、前を見よ！！

旅男

【たびお・青森県五所川原市】

救急車追い越していく霊柩車
リモートで金魚の刺身チョコの酒
嬉しいような悲しいようなカレイの煮付け
水の精スケート靴はミズノ製
白鳥も糞はするべという鳥

先月号の
お気に入り

尊厳の形に空気入れておく 守田啓子
気体と液体は自由な形、人の態度も自由な形。私は捨てて
しまったようでした。見かけだけでも形を整えよう。うん。

田中薫

【たなかかおる・青森県弘前市】

肛門をいたわった事がなかったわ
バーチャルの朝日に献盃
ザンキザンキよれよれのパンタロンが
空が狭い雲がはやいヒトは何処
湯の島にぼつんと冷血人間

先月号の
お気に入り

辻井洋子

【つじいようこ・青森県青森市】

ふんわりと鋭利な舌を包み込む
雑誌パラパラ反省チラリ帰ろうか
パンケーキ甘い空から抜け出せぬ
引き止める言葉を探す交差点
新品の表情筋で会いに行く

先月号の
お気に入り

贈りますあなた好みの色の雨 渡邊こあき
桜色の雨がいいな。

土田雅子

【つちたまさこ・青森県青森市】

結婚は若気の至り春の泥
コークハイ飲んで青春追記する
下方修正止まぬ夫婦の愛情値
つつけんどんに吊るす夫のトランクス
五十年前の夫を競り落とす

先月号の
お気に入り

M20こんなところにチエ・ゲバラ 小野五郎
五郎さんの脳はいつも革命広場ですものね！

夏草ふぶき

【なつくさふぶき・青森県青森市】

喉鳴らし夜をぐくりと呑んでいる
張りぼての透けたお札を渡される
エプロンがコートの上で震えている
死に際のホームレスから貰う茄子
ポリウムがあれば納得する土筆

先月号の
お気に入り

生んだのはヒト育ったのはモンスター 村上あつこ
うちにもモンスターいます



おかじょうき川柳社：誌上句会

0 番線

課題と選者（2句詠・共選）

題：『一』

7/31 〆切

選者

榊 陽子 (愛知県)

奈良一艘 (青森県)

投句方法

※誠に申し訳ありませんが、今回より郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

【ウェブサイトからの応募】

http://okajoki.com/toku/0line.html へアクセスし、作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。



【メールで直接送信する場合】

メール本文内に「作品（2句まで）」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号（ふりがな）」「電話番号」を明記し、件名に「0番線」として、下記送信先までメール送信してください。＜送信先アドレス：moriko@okajoki.com＞

投句料（※おかじょうき川柳社会員は無料です。）

1,000円（発表誌呈） *発表誌の送付をもって、投句料受領したものとさせていただきます。

◆振込先：郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかじょうき川柳社

賞

特選の方に青森県特産品を贈呈。

奈良一艘【ならいつそう・青森県弘前市】

老人ををひとつ吐いてはあかよろし

「プ」と出るか「ペ」が出てくるかパチンコ屋

ラーメンのような男ですスミマセン

その男マザコンにつきバーモントカレー甘口

Reのこないめーるをうっている白夜

先月号の
お気に入り

待っている蜥蜴の舌に棲む人を
はいよ！雪が消えたらすぐ参上いたします。
米山明日歌

むさし【むさし・青森県蓬田村】

脊椎を上るバクダンテイキアツ

左手首に棲み着いているナキウサギ

頭頂に突き刺さつてるヤツの舌

ジョンレノンとホワイトアウトから抜ける

メモリーが足りないアダージョで行こう



川柳作品をお待ちしております。

■題「時事川柳」むさし選

時事川柳をひとり何句でも。郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記のうえ下記へ投句して下さい。

【投句先】メール：aomori@yomiuri.com 「よみうり文芸」時事川柳係
ハガキ：〒030-0801 青森市新町2-2-4 新町二丁目ビル6階
読賣新聞青森支局 「よみうり文芸」時事川柳係

【掲載】毎週火曜日 / 【賞】秀逸には図書カードを贈呈

深読み心理

はじまりは春の初めのころでした 柳本恵子

(会員雑詠集無人駅2月号)

「春葦殺人未遂事件」という騒動があったのはたしか昭和34年春の初めの頃だった。私は小学五年生位で、二個下と三個下の妹がいた。病弱な母と婿養子の親父、そして今でいう代表取締役会長的な気の強い(近所では心臓に毛が生えているといわれていた)祖母がいた。

その日親父は裏庭からひと掴みの草を摘んできて、「これは春葦だよ、美味いぞ」と祖母に渡し仕事場である母屋へと向かった。祖母は早速その葦を湯がいて胡麻和えに料理した。私と母は何故か食べる気がなく祖母と妹二人が「美味いうまい」と食べていた。

何事もなく昼飯は終わったかに見えたのだから、悲劇はその30分後に起こった。激しい腹痛と嘔吐に襲われた祖母と妹二人はすぐに病院へと担ぎ込まれたのだ。死体解剖の結果?じゃないや、食べた物と吐瀉物を照らし合わせた結果、「春葦と間違えた水仙の芽を食した

ことによる食中毒」との医者診断であった。(笑)
幸い三人の症状は軽く済み一晚の入院で済んだのだが、その後は推して知るべし:祖母は「ウチの婿が私を殺そうとして毒を盛った」と騒ぎまわるし、母は二人の妹を抱き抱えて泣きまくるし:子供心に大変だったのを思い出す。婿養子の親父はその後一ヶ月ほど行方をくらました。あっぱはっは。以上が「春葦殺人未遂事件」のあらましである。

で、掲句であるが:多分作者は初恋の淡い思い出みたいなものを懐かしい物語として描いたのであるう。始まりは春のすが読者の想像を掻き立てる仕立てになっていて巧みだ。

各自の経験を重ね合わせて妄想できる川柳はなぜか面白い。



▼投句者 (47名・到着順)

- | | |
|----------------|---------------|
| 安藤なみ (愛知県) | 村井規子 (青森県) |
| 斉尾くにこ (鳥取県) | 村上あつこ (青森県) |
| 岸井ふさゑ (大阪府) | 寺川弘一 (大阪府) |
| 吉松澄子 (愛媛県) | 上村夢香 (山口県) |
| 城後朱美 (福岡県) | 須藤しんのすけ (青森県) |
| 峯島 妙 (大阪府) | 夏草ふぶき (青森県) |
| 西沢葉火 (長野県) | 青砥和子 (愛知県) |
| 木村美映 (青森県) | 鳴海賢治 (青森県) |
| 宮井いずみ (大阪府) | きさらぎ彼句吾 (青森県) |
| 田久保亜蘭 (秋田県) | まきこ (青森県) |
| 石橋芳山 (島根県) | 葉 閑女 (青森県) |
| 四ツ屋いずみ (北海道) | 守田啓子 (青森県) |
| 芝岡かんえもん (神奈川県) | 徳長 怜 (徳島県) |
| 土田雅子 (青森県) | 坂本清乃 (青森県) |
| 米山明日歌 (静岡県) | 中村暁代 (岩手県) |
| 三好光明 (愛知県) | 斎藤泰子 (秋田県) |
| 吉田吹喜 (青森県) | まみどり (青森県) |
| 岩根彰子 (京都府) | 奈良一艘 (青森県) |
| 尾崎良仁 (千葉県) | ひとは (青森県) |
| 旅男 (青森県) | 熊谷冬鼓 (青森県) |
| 柳本恵子 (奈良県) | 笹田隆志 (青森県) |
| 紫の園 (東京都) | 田中 薫 (青森県) |
| むさし (青森県) | 三浦蒼鬼 (青森県) |
| 郷田みや (愛媛県) | |

おかしな家川柳社

3月ステイホーム誌上句会

宿題『無』

愛知県瀬戸市 青砥和子選

【佳作】

いいね！押す二月無音の夜明け前
 全開のシャワーへ無抵抗でいる
 保健室私の匂い消していく
 一人です無所属ですが鬼退治
 無果汁と記すべきモノクロ写真
 カッコウの卵がひとつ無人販売所
 春なのに私のための青が無い
 無人の部屋から漏れてくる水音
 トルソーになつて世紀を生きている
 無頓着装っている冬の蝶
 消印の無い恐竜からの手紙
 アカウント抹消潔い喪明け
 充電器無くし暦がめくれれない
 奥付は雲一つない青い空
 雪無料知っているからうつとうしい

齊尾くにこ
 齊尾くにこ
 城後朱美
 峯島 妙
 西沢葉火
 宮井いずみ
 米山明日歌
 米山明日歌
 寺川弘一
 三好光明
 尾崎良仁
 須藤しんのすけ
 夏草ふぶき
 守田啓子
 坂本清乃

ややこしい話をしよう無症状

顔はどこだと言われたことが三度ある

んの字になつて無性に泣くひとり

またひとり無人島まで送ります

セクシーの欠片もないねカットバン

【五客】

一発勝負をかけてみた雪無音

ただ春は無難に咲いて散りたいし

無になつてころりベイダー卿の首

無駄な線ばかり増やしてしまう顔

生活一切吸い取つてナフタリン

【人位】

無茶苦茶な弟だった消えちゃった

【地位】

虚無感どきどきコインランドリーへ

【天位】

止めてください シュークリームは無実

まみどり
 むさし
 峯島 妙
 三浦蒼鬼
 吉田吹喜
 鳴海賢治
 峯島 妙
 石橋芳山
 米山明日歌
 旅 男
 齋藤泰子
 四ツ屋いずみ
 吉田吹喜

◆「無」をどのように詠まれるか楽しみでした。「無い」「ない」と熟語を使つた句が多かつたです。【人】「無茶苦茶な弟」の姿はもう見えないという作者の心の無。【地】「コインランドリー」は田舎にもでき、本当に様々な人が利用する。今の世相が見える。【天】イライラしながら「シュークリーム」を潰す人とそれを見ている人がいる。一字空けや最後の「無実」で、みんな苛ついてくる様子が十分伝わる。楽しい句。◆

宿題『長い』

北海道小樽市 河野潤々選

【佳作】

忘れたい汚点に長くなる西日
 まーるく生きて長方形に閉じられる
 艶と忍耐まるつとへアードネーション
 訳したらとつても長い紐になる
 半音を曳きずつてきた牛である
 方舟に乗つても別の不安感
 ホイホイを剥がす3年目の5本指
 巻きついていたもの切れて雨になる
 車窓から伸びる日常プログラム
 「石畑」一日に三本のバス
 ちよつとだけズルイ私の長い影
 白つばき長い沈黙だったのね
 明日読む千夜一夜の裏表紙
 非公式なので長めの備忘録
 座つても立つても長すぎるリボン

石橋芳山
 芝岡かんえもん
 四ツ屋いずみ
 徳長 怜
 芝岡かんえもん
 齋藤泰子
 岩根彰子
 守田啓子
 須藤しんのすけ
 旅 男
 ひとは
 郷田みや
 須藤しんのすけ
 熊谷冬鼓
 郷田みや

核心を薄める長いリトマス紙

長い長いリングネームで戦っている

水仙だった軍用道路だった

性善説の長い長い前置き

低気圧の長いストローからシャボン

【五客】

泣いているから長い法話を聴かされる

坂降りて梅はまだ咲けますでしょうか

延命装置の円周率よりも眠れ

三回も息継ぎをする捨て台詞

引きのばされた電話から臨時ニュース

【人位】

長すぎて詠みこめぬドルチェ&ガツ

【地位】

摩訶般若月を突つつく棒をくれ

【天位】

白足袋の小鉤一枚欠けたまま

峯島 妙
 柳本恵子
 岩根彰子
 岸井ふさゑ
 尾崎良仁
 三浦蒼鬼
 守田啓子
 きさらぎ彼句吾
 米山明日歌
 青砥和子
 徳長 怜
 むさし
 坂本清乃

【人位】痛快。具象をいきなり切り落とすことで、その存在感を浮かび上がらせている。この作品はきつと長く記憶に残つ。【地位】写経は、邪念を払い心を落ちつかせる効果があるようだが、何ともむずかしいようだ。空の思想と俗世間との距離を感じる。【天位】今までもこれからも、本来そこに存在すべきものを失つたまま生きていかざるを得ないのか。「小鉤一枚」が悲しい。震災から十年、私の読みがはずれていますよう。

宿題『自由詠』

青森県蓬田村 むさし選

【佳作】

巢ごもりをしているうちに鳥になる
動かない景色に洗濯もの揺れる
三寒四温何に向かっているのやら
やくそくが小鳥みたいにやってくる
さくら咲くように散るように微熱
石鹸の泡ふんわりと牙をむく
雨の日の泥くつつけてきた返事
伝えたい事は静かに言いました
罵声飛ぶもんしろ蝶も飛んでいる
頭にウグイス胸にキジバト気は確か
少しだけズレていいんだオスとめす
人前で「クネツ」やっぱりバカっぽい
ええケチです こちとら不健康なんで
掛軸の裏にAランチと昼寝
口笛を返してくれる夜男

夏草ふぶき
城後朱美
三浦蒼鬼
徳長 怜
岸井ふさゑ
土田雅子
宮井いずみ
村井規子
尾崎良仁
旅 男
三好光明
吉田吹喜
吉田吹喜
西沢葉火
西沢葉火

十和田たてがみ川柳会2月句会

【参加者】漆館ミノリ・木村奈生美・久保あざみ・

斉藤蛙井・佐藤まさあき・瀧尻善英・福田芳記・

村上昌子・高田幸柳

【投句者】磯島雅男・城後朱美

■席題『洋食』

【平抜き】

洋食より今は和食が好きになり

オムライスなら出来ますと嫁に行く

ゆつくりと満たされた気のフルコース

カレーだよ跳ねた娘はあらに そうと

洋食に婆ちゃん箸を注文す

オムライスは笑顔でかわいいね

女子トーク「ざあくます」になるフルコース

初デート少し奮発フルコース

青春の味覚を思い出すパスタ

【秀逸】

土曜日はひと晩置いたカレーの日

齊藤 蛙井 選

漆館ミノリ

木村奈生美

村上 昌子

村上 昌子

佐藤まさあき

久保あざみ

瀧尻 善英

佐藤まさあき

木村奈生美

瀧尻 善英

明日から昨日を引けば水の音
転がった先で海鼠になつている
闇まとい人間臭くなる金魚
後付けの理由にはノイズが混ざる
山桜になる予約をします

米山明日歌
石橋芳山
米山明日歌
齊尾くにこ
徳長 怜

【五客】

クレソンのみどりを採譜しておこう
爪のびる速度でうごく春の影
黄昏の座りかたなら知っている
奢るからひらひらひとつくれないか
股関節疼いてどこまでがこの世

徳長 怜
柳本恵子
芝岡かんえもん
尾崎良仁
三浦蒼鬼

【人位】

自分を好きになつてやろうじゃないか 春

斎藤泰子

【地位】

オバサンと呼ばれた辺りを確かめる

村上あつこ

【天位】

チーズケーキの貌して別れ言いに来る

まきこ

17音で言いたいことを言うのは難しい。何を省いて何を書き込むかも大事だが、自由詠の場合はどういうテーマで書くかがまず問題。言いたいことがなければ自由詠は書けない。簡単に言えば、言いたいことを書けばいい。もつと言え、生き方に添って書けばいい。

特選句は「チーズケーキの貌して」などと勝手気ままな表現を試みていて、それでも破綻することなく読ませるので句の持つ世界に惹かれてしまう。

洋食屋まずは割り箸注文し

高田 幸柳

【特選】

幸せをふんわり包むオムライス

瀧尻 善英

■席題『洋食』

瀧尻 善英 選

【平抜き】

洋食屋まずは割り箸注文し

お袋とステーキ食べたあの笑顔

レストラン4・5年行かず苦でもない

洋か和か帽子でわかる料理人

ゆつくりと満たされた気のフルコース

大衆食堂取り揃えてる和洋中

洋食の後で直行ラーメン屋

昼食は夫の得意なスパゲティ

洋食屋立ち寄り若さ持ち帰る

【秀逸】

ムニエルの食材なんと養殖魚

オムライスなら出来ますと嫁に行く

【特選】

ビストロの小さな皿が赤い糸

齊藤 蛙井

高田 幸柳

齊藤 蛙井

久保あざみ

福田 芳記

村上 昌子

佐藤まさあき

高田 幸柳

久保あざみ

木村奈生美

福田 芳記

木村奈生美

■宿題 『よぼよぼ』

高田 幸柳 選

【平抜き】

よぼよぼとよちよち歩き似て非なる
よぼよぼが見た目分からぬ耳と目と
よぼよぼとなり見えるものあるらしい
よぼよぼとしてもゴールへ歩む駄馬
よぼよぼに縁ない傘寿フラダンス
虫食いのカシミアセーター放せない
よぼよぼの膝が老残語つてる
切り捨ての弱者が増える世の不信
よぼよぼにならないための一万歩
一本の杖おぼつかぬ身の支え
近ごろはもう駄目ダメと歳のせい
よぼよぼを笑うあなたも歳をとる

【秀逸】

筆圧がミニミズのような遺言書
三本の脚で支えるご老体

漆館ミノリ
福田 芳記
漆館ミノリ
木村奈生美
佐藤まさあき
久保あざみ
齊藤 蛙井
木村奈生美
城後 朱美
村上 昌子
瀧尻 善英
城後 朱美

ライバルも僕も一緒に年をとる

瀧尻 善英

【特選】

■互選 『余裕』

- ① 気候危機余裕時計はゼロと指す
- ② 全力の7割までで済ます人
- ③ 露天風呂流れる雲と語り合う
- ④ 敵襲に慌てず豪傑飯を喰う
- ⑤ ポケットに余裕の笑顔だけ遣る
- ⑥ 老いても気力余裕はしゃくしゃくだ
- ⑦ 真夜中の産気余裕の六人目
- ⑧ ペーパーがなげりや話せぬ我が総理
- ⑨ 財布にはまだ万札があるゆとり
- ⑩ 名人の急所の一手で茶を啜る
- ⑪ 3日に一度笑えることがあればいい

齊藤 蛙井
福田 芳記
久保あざみ
佐藤まさあき
村上 昌子
高田 幸柳
福田 芳記
瀧尻 善英
佐藤まさあき
漆館ミノリ

■十和田たてがみ川柳会4月旬会案内

【時】 4月17日(土) 午前10時から 【所】 十和田労働
福祉会館 【宿題】(各題三句詠)『旅行』高田幸柳選／『良
心』木村奈生美選 【互選】(二句詠)『両手』当日出席
者のみ(句箋の裏に雅号記入) 【席題】一題(三句詠・
共撰)／選者は、瀧尻善英ほか出席者から一名 【投句
先】〒034-0049 十和田市西二十二番町2-21 十和
田労働福祉会館 高田幸柳あて

■宿題 『予兆』

木村奈生美 選

【平抜き】

露の暮春の兆しを演出す
そういえばそうだったのか結果論
留守電が三日続いてから別れ
淡雪に春の予兆の匂い嗅ぐ
振り向いた笑顔に恋を予感する
回復の兆しへほほ笑みが軽い
春予兆雀ピョンピョン草むらへ
予兆から段々高いテレビ音
茶柱に今日告白を決意する
映画館いとこどりの予告編
森さんの言動いつも上目線
変え時と待機ランプがすぐ消える

【秀逸】

靴音でキミの機嫌を察知する
予兆など何もなかった離婚劇
忍び寄る病の予兆気づかない

佐藤まさあき
城後 朱美
城後 朱美
齊藤 蛙井
高田 幸柳
瀧尻 善英
齊藤 蛙井
磯島 雅男
高田 幸柳
福田 芳記
久保あざみ
磯島 雅男

【特選】

齊藤 蛙井

「チャレンジ川柳!
むさし流!」のブ
ログはこちら

川柳吟行会「ぼ」

課題『鬼』

新型コロナウイルスで成田到着、オリンピック会長の辞任、福島、宮城での震度6強の地震発生など世の中はざわついていた。春のような陽気から一転し昨日から日本列島は爆弾低気圧、暴風雪警報が発生し公共交通機関はマヒしている。思い起こせば、前日も暴風雪に襲われ命がけでアウガに集まった。本日もホワイトアウトの中、川柳好きが集まり予めメールで届いていた17名50句の作品を全員で次々に読み解いている。このように嵐を呼ぶ「川柳吟行会 ぼ」の合評会が始まり活字には表しきれないものを体感し帰宅した。(啓子)

【9点】特×3・佳×3

けさ勿ねた小鬼の首か落ち椿

宮井いずみ

【彰子】時代小説の挿し絵を彷彿。落ち椿は美しくどう

【子】たしかにそういう意味ではイケメンの鬼ですね。楽しく読めました。【こあき】会いたいです。鬼でもふうでも。レットさま。

【5点】特×2・佳×1

春うらら鬼と散歩をしています

吉見恵子

【ふぶき】春の陽気だと鬼とでも散歩したくなりますね。【五郎】身の内にいる鬼との付き合い方を考えさせる作り方になっている。【妙】春の陽気に誘われてお散歩。横を向けば鬼！という面白さです。

優しさが死んだ鬼から滲み出る

夏草ふぶき

【規子】この句は実に深いと思う。この鬼は、前世で人としてよほど報われず、次の世で鬼になったともとれる。人を一番支えたり助けたりするのも人間だが、一番傷つけるのも人間だと思うから。この鬼は、鬼になった後も優しさを完全には捨て去る事が出来ずに亡くなった気がしてならない。【紫の園】鬼籍に入られたと思われる人から、優しさが滲み出ていると詠んだ方の、また優しさが出ていると思いました。【恵子】死んだ鬼の顔は、よくよく見ると優しさに溢れた顔であったという後悔にも似た気づきの実感が伝わって来た。

しても掌に載せて眺めてしまう【恵子】自分の中の小鬼を刎ねるといふ狂気を「落ち椿」で妖しく綺麗にまとめている。たとえ小鬼でも自分の一部であり、痛みを直視しているようだ。【旅男】刎ねたものを想像します。余程気に障ったことがあったんでしょうか。刎ねた、首、椿、切味良好で色も鮮やかです。【州花】落ちたばかりの椿のしっとり加減はおどろおどろしいばかり。【冬鼓】刎ねるが生々しいが落ち椿が鮮明。【隆志】戦国時代にタイムトリップしたような気がします

【6点】特×1・佳×4

弱いのよレット・バトラー風の鬼

宮井いずみ

【州花】長い年月をかけて鬼に育てたのは私だからしっかり鬼の急所は押さえている。強くなければ鬼にはなれぬ。強さは優しさでこそあるのだから。【彰子】口語体に攫まれた。風が安易とも感じたが。【ふぶき】こんな素敵な鬼なら私も弱いわ、っていうか会ってみたい。【啓

【4点】特×2

間際には角は取れます、そうですね？

旅男

【啓子】「間際」逝く間際、「角」カドでもツノでも面白く読むことができる。題が「鬼」だからツノでしょう。「そうですね？」の押し付けるような問いかけ。「とれないでしょう」とは言えない。【さち】死の際にはツノは取れてしまっても何もかもすっきりと無になれそうな気がします。句読点や？は必要ないのでは？

【4点】特×1・佳×2

傘寿かな鬼の手に成る万華鏡

吉田州花

【文音】自分の手を丸めて万華鏡の形にしているのでぞいてみました。年令を重ねた手のウラは美しいものではなかったが生きてきた行程がキラキラして成る。【恵子】傘寿のごつごつした鬼の手のような自分の手を見つめている。「万華鏡」は人生の来し方を様々に連想させる効果があるようだ。【紫の園】傘寿を迎えて鬼に従がわざるを得ない現状は、万華鏡のように様々に踊らされている気持ちが出ています。「かな」は違和感があり、別な文字にした方が落ち着くと思います。

右卍半端な鬼のまま暮れる

吉田州花

【こあき】卍は吉祥でもありナチスの印でもある。善にも悪にもなりきれない半端な鬼にしかねない。【いずみ】鬼になりきれないことは瑞兆、右卍。半端な鬼でよかった。【啓子】しあわせの記号卍。平々凡々と過ごすことそれが一番のしあわせなのでは？人生とは？

ときどきは鬼になってもいいじゃない 渡邊こあき

【妙】コロナ禍で人に迷惑をかけないよう抑圧気味の毎日が辛くなってきました。たまにはやんちゃな気分になりたい。「ときどき」ですけどね。【かなえ】時々鬼になる私は大いに励まされました。【さち】決断の時は鬼と言われても仕方ありません。

ワクチンか鬼饅頭か決めなさい

小野五郎

【いずみ】なぜワクチンと同列に鬼饅頭を選ばねばならないのか全くわからない。そのナンセンスさが無性に面白い。【かなえ】この取り合わせのぶっ飛び感にコロナ禍も忘れそう。【冬鼓】鬼とは名ばかりの饅頭。ワクチンもビビるなってことね。

【3点】特×1・佳×1
水たまりひらり跨げば鬼の顔

吉見恵子

る。日常のひとつま。

【1点】佳×1
出向や鬼滅の刃柄パンツ

岩根彰子

【五郎】重大な局面に立ち向かう気概を感じさせる。

泣いてないて人になれずに鬼となる 村井規子

【五郎】納得し共感する。

善い鬼もいると信じる楽しさよ 紫の園

【親子】人間にお人好しがいるのと同じように鬼にも気性の善い鬼がいてもいいかも

いまぎつと鬼の顔してるわワタシ 滋野さち

【妙】自分を客観的にみているモデルケースですね。鬼と自分が最強です。

鍾乳洞鬼は差し歯であったのか 岩根彰子

【いずみ】鍾乳洞のつららを「鬼の差し歯」と名付けた看板、ありそうですね。

一升枧に節分の豆遠い日々 福田文音

【こあき】こどもの頃を思い出しました。ただただ懐かし。

日の暮れの鬼灯をまだ揉んでいる 守田啓子

【文音】日の暮れは夕ぐれ。手にある鬼灯の実を鳴るよ

【隆志】さらりとした行動の影にドラマがあると感じさせてくれます。【旅男】怒ってる様子、ちよつと可愛い鬼ですね。

【2点】特×1
鬼が島 鬼の顔した人ばかり 夏草ふぶき

【冬鼓】鬼ばかりの鬼ヶ島では鬼でいることに疑問を持たない。同類ばかりで鬼だとも思っていない。そんな鬼ヶ島が永田町界隈にあるらしい。

筋状に鬼が並んで飛べません 守田啓子

【かなえ】冬の筋雲のこと？この見立ては不気味。無さそうでありそうな状況設定に○。日輪刀が欲しい！

【2点】佳×2
ほんとうの鬼はごっこなんかしない 峯島妙

【彰子】鬼の説明ではなく鬼と対峙している。【さち】あっけらかんとして、でも納得です。

身のうちのニヒルな鬼をあやしている 滋野さち

【紫の園】身体にいる斜め皮肉な自分の鬼と折り合いをつかせようかと、仲良くしている様が出ています。【州花】広辞苑にニヒルは無感動で冷めた印象を与えるさまとあ

うに愛しむ仄かさが美しい。

天邪鬼逆らい過ぎて丸くなる 笹田隆志

【ふぶき】あちこちにおつかっているうちに角が取れていくのでしょうか。

モナリザのパンツが鬼の形相に 岩根彰子

【文音】絵のモナリザのパンツがぬけることによって、人も絵も形相が変化するおもしろさ。

わたくしを育てた母に鬼の日も 村井規子

【隆志】やさしい母のありし日の面影を偲んでいます。

【1点】佳作 旅男
にはたづみ百鬼夜行を見送れば 笹田かなえ

【旅男】悪人共で濁っているにはたづみ。ブーツと見てます。

泣きたいのは鬼の方かも知れません 笹田かなえ

【親子】鬼は人間ほど害はないのに、毎年のように「鬼は外」と言われ続ける。鬼だともいいかげん悪役はいやではないかしら？

■会費拝受【2月受付分】 ※太字は新会員

一帆(秋田県) / 城後朱美(福岡県) / 四ツ屋いずみ(北海道) / 上村夢香(山口県) / 村井隆行(滋賀県) / 木村美映・村上てる・笹田隆志(以上青森市)

■おかじょうき川柳社会員募集中!

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名:おかじょうき川柳社
→会費:6,000円(1年分)

おかじょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759
〒039-3502 青森市久栗坂浜田87-2

●投句全般についてはこちらへ●

守田啓子 moriko@okajoki.com

終着駅 Sin

◆NHKの人気ドキュメンタリー番組「プロフェッショナル～仕事の流儀～」に、あの伝説アニメ「エヴァンゲリオン」の生みの親、庵野秀明が特集された。庵野秀明といえば、テレビの露出も少なく、いろいろと謎の人物で有名だ。「エヴァンゲリオン」という物語自体も謎が多く、ファンの間では「エヴァンゲリオン」は絶対終われないとまで言われるほど、複雑な流れを経ている。だが、ここにきて、いま公開されている「シン・エヴァンゲリオン劇場版」でついに終りを迎えるということだ。その制作過程の4年間、庵野に密着したという。実際に番組を観ると、4年間という謳い文句の割に、最初と最後だけで構成されている感覚だったが、庵野の制作過程を観ていると、4年間といえども、実際の撮れ高は少

なかったんだろうと、同情する部分もある◆とはいえ、番組の中にクリエイターとしての庵野語録は興味深いものであった。「何処かが欠けてるものがない」というのは、片足を失った父親を肯定しようとする気持ちが元となった美意識と本人は語る。実際、「エヴァンゲリオン」に登場する人物は何かしら不完全である。この不完全の美というのは、茶道の「わびさび」に通ずる。不完全なものを目にしたり、手に取って、自分の脳内で完全にしておくことが「わびさび」の良さと言われる。まさしく、川柳も同じだろう◆昨今のデジタル社会では、不完全なものはすぐ批判的となる。誰しもが不完全なくせに、他人の不完全を罵る世界になってしまった。人間、そして人生は不完全だから愛おしく美しいのに◆Sin

□ 2021.04.20 第69回 蟹の目 誌上大会

【課題】「指」1口2句(何口でも可) 11名による共選 清記選【選者】浅利猪一郎(秋田) / 月波与生(宮城) / 興津幸代(長野) / 徳永政二(滋賀) / 佐藤文子(愛知) / 橋倉久美子(三重) / 樋口由紀子(兵庫) / こうだひでお(京都) / 吉松澄子(愛媛) / 松永千秋(福岡) / 岡本聡(石川)【締切】令和3年4月20日(当日消印有効)【投句料】1,000円(郵便小為替等) 発表誌呈【投句用紙】指定用紙または便箋等 住所・氏名・電話番号明記【賞】蟹の目大賞(最優秀句1名) 句入り金箔楯 / 優秀句賞(2~10位) 金沢名産品 / 各選者特選賞 竹久夢二金箔笺【採点】各選者 特選3点・秀逸2点・平拔1点 合計点にて入賞作品決定【発表】柳誌「蟹の目」7月号【主催及び投句先】〒924-0831 石川県白山市藤波1-4-8岡本方 蟹の目川柳社 電話・Fax 076-275-5161

□ 2021.05.31 第63回「不浪人賞」/第51回「年度賞」候補句募集

【応募資格】青森県在住者【応募料】青森県川柳連盟加入吟社に所属している方は無料。無所属の方、連盟日より(結果)の個人送付希望者はその旨を明記のうえ百円切手を同封ください(不浪人賞・年度賞1位に呈賞)【対象作品】令和2年1~12月に発表された作品。「不浪人賞」・「年度賞」のどちらか、または両方の応募可(2賞への同一句の応募は不可)【応募用紙】所定用紙(コピー可)またはA4の用紙を使用し、楷書で不浪人賞(3句)と年度賞(5句)を分け、それぞれに住所・氏名・電話番号を記入ください。【締切】令和3年5月31日(当日消印有効)【発表】本賞の速報を各柳誌に掲載。結果詳細は「青森県川柳連盟だより」にて。なお連盟だよりの送付ですが、基本的に所属吟社に一括送付致しますので応募の際は所属吟社記入のこと。【表彰】令和3年9月23日(祝)川柳忌黒石川柳大会にて(予定)。*各賞1位に賞状と記念品【送り先】〒038-3288 つがる市木造出来島33 青森県川柳連盟「不浪人賞・年度賞」係【選者】★不浪人賞(6名) 渡辺梢(埼玉)・赤松ますみ(大阪)・鎌田京子(宮城)・新家完司(鳥取)・島田駱舟(千葉)・野沢省悟(青森)★年度賞(10名) 長谷川酔月(秋田)・熊谷岳朗(岩手)・雫石隆子(宮城)・山口まもる(山形)・小林左登流(福島) / 千鳥鉄男・むさし・工藤青夏・笹田かなえ・田鎖晴天【連絡先】青森県川柳連盟事務局 濱山哲也 Tel 080-5574-9297【主催】青森県川柳連盟

おかじょうき川柳社 作品募集案内

□ 2021.04.14 「川柳吟行会 ぼ」4月句会

【投句締切】4月14日(第2水曜日)【題・投句数】「花」3句【投句先】
toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 *それぞれの場所で一人吟行での作句をし
投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。後日月刊おかじ
ょうきに掲載。メール交換できる方ならどなたでも参加可。

□ 2021.04.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5句(6月号分)

【締切】4月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句(最新号から
お好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入)【掲載】6/10発行
号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html>
【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

□ 2021.05.01 おかじょうき川柳社本社5月句会

【時】5月1日(土)午後1時~【所】アウガ5階小会議室【投句締切】4月
30日(金)15時【宿題】(各題3句詠)『沼』/『ぬるい』/『自由詠』選者は
当日の参加者より選出【席題】1題3句詠・2人共選【川柳ラボ】互選句「破
調の句」1句【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/>
【メールで直接送信投句】moriko@okajoki.com(守田啓子)※投句、句会参加
はおかじょうき川柳社会員のみとし、句会参加の際は新型コロナ感染対策に協力願います。

□ 2021.05.12 〆 「川柳吟行会 ぼ」5月句会

【投句締切】5月12日(第2水曜日)【題・投句数】「空」3句【投句先】
toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 *それぞれの地で一人吟行して作句し投句
願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。選評等は後日月刊おか
じょうきに掲載。メール交換できる方なら会員以外でも参加可。

□ 2021.06.05 おかじょうき川柳社本社6月句会

【時】6月5日(土)午後1時~【所】アウガ5階小会議室【投句締切】6月4日(金)
15時【宿題】(各題3句詠)『根』/『眠る』/『自由詠』選者は当日の参加者
より選出【席題】1題3句詠・2人共選【川柳ラボ】互選句「固有名詞を使っ
た句」1句【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/> 【メー
ルで直接送信投句】moriko@okajoki.com(守田啓子)※投句、句会参加はおか
じょうき川柳社会員のみとし、句会参加の際は新型コロナ感染対策に協力願います。

